

■ 貴事業所における地球温暖化対策の取り組みについて

問1 貴事業所では、温室効果ガスやエネルギー、廃棄物の削減などについて目標を定めていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- 1 目標を定めている
- 2 今後定める予定である
- 3 今後も定める予定はない

問2 上記問2で「1 目標を定めている」とお答えの方にお聞きします。削減目標の内容について、あてはまるものを全て選び、番号に○印を付けてください。

- 1 電気、ガスなどエネルギー種別ごとの使用量
- 2 温室効果ガス(二酸化炭素等)の排出量
- 3 エネルギー合計使用量(熱量換算等)
- 4 廃棄物の発生量
- 5 エアコンの温度設定など、従業員の省エネ行動実施率

問3 貴事業所では、使用するエネルギー消費量(電気、ガス、灯油、重油)について、どのようなお考えですか。当てはまる番号を1つ選び、番号に○印を付けてください。

- 1 生産や販売量の割には多いと考えており、削減したい
- 2 生産や販売量の割には多いと思うが、製品やサービスの質を維持するために削減は難しい
- 3 普通程度だと考えているが、できればさらに削減したい
- 4 普通程度だと考えており、とくに削減することは考えていない
- 5 少ない方だと考えているが、できればさらに削減したい
- 6 少ない方だと思うので、とくに削減することは考えていない

問4 貴事業所が実施している温暖化対策に関する社内の管理体制等について、あてはまるもの全てを選び、番号に○を付けてください。

- 1 環境保全、地球温暖化対策等に関する専門部署、担当者を設置している。
- 2 従業員に対して、環境教育を実施している。
- 3 環境報告書等を作成し、公表している。
- 4 日々の事業活動に伴うエネルギー使用量や管理状況を記録している。
- 5 経団連及び各業界の自主行動計画に基づいて取り組みを実施している。
- 6 環境マネジメントシステム(ISO14001, エコアクション21等)を構築し、取り組んでいる。
- 7 地球温暖化防止に関する経営方針を定めている。
- 8 その他()

問5 以下は事業活動の中でできる地球温暖化防止の取組です。各取組について「現在の取組状況」にあてはまるものをそれぞれ1つ選び、○を付けてください。

また、「今後取り組みたい」、「今後も取り組まない」とお答えいただいた方は、その理由として当てはまるものを下欄から1つ選び、最右枠にご記入ください。

事業活動でできる主な温暖化防止の取組		いつも取り組んでいる	時々取り組んでいる	現在は取り組んでいないが、今後取り組みたい	今後もし取り組まない	自社には該当しない	その理由
省エネルギー	1) エアコンの残業時の停止、運転時間短縮などを行っている。	1	2	3	4	5	()
	2) 過剰な冷暖房とならないように、設定温度の調節をしている。	1	2	3	4	5	()
	3) エアコンのフィルターはこまめに掃除している。	1	2	3	4	5	()
	4) 始業前、昼休み、休憩時等は可能なかぎり消灯している。	1	2	3	4	5	()
	5) 照明を更新する時は、省エネ型照明(インバータ照明、電球型蛍光灯)を選択している。	1	2	3	4	5	()
	6) 離席時や退社時など、パソコンやコピー機の電源をこまめに切っている。	1	2	3	4	5	()
	7) パソコンやコピー機等を購入・更新する際は省エネ性能を考慮している。	1	2	3	4	5	()
省資源	8) 両面コピー、両面印刷を励行している。	1	2	3	4	5	()
	9) 会議ではプロジェクターを使用するなど、出席者への資料配付を極力控えている。	1	2	3	4	5	()
	10) コピー用紙は再生紙を使用している。	1	2	3	4	5	()
	11) グリーン購入を実施している。(環境負荷の少ない製品の優先購入)	1	2	3	4	5	()
移動・自動車	12) 電車やバスなどの公共交通や自転車による通勤を奨励している。	1	2	3	4	5	()
	13) 近距離の移動では、自転車や徒歩を奨励している。	1	2	3	4	5	()
	14) エコドライブ(アイドリングストップ等)を奨励している。	1	2	3	4	5	()
	15) 社用車を更新する時は、環境に配慮したエコカーを選択している。	1	2	3	4	5	()

【現在取り組んでいない、今後も取り組まないと回答した理由】

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1 収益性を阻害するから | 4 取り組む必要性を感じないから |
| 2 面倒だから | 5 自社だけ取り組んでも仕方がないから |
| 3 きっかけがないから | 6 どうやればよいかわからないから |
| 7 特に理由はない | |

問6 以下は新エネルギー，革新的なエネルギー高度利用技術と呼ばれているものです。貴事業所で採用している（又は採用を予定・計画している）技術がありましたら，あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 太陽熱利用（利用用途： ）
- 2 温度差熱利用（熱源： ）
- 3 太陽光発電
- 4 風力発電
- 5 バイオマス利用（バイオマスの種類： ）
- 6 ヒートポンプ
- 7 天然ガスコージェネレーション
- 8 燃料電池
- 9 クリーンエネルギー自動車（以下より種類を選択して○を付けてください）
（ハイブリッド自動車，電気自動車，メタノール自動車，天然ガス自動車， その他／ ）
- 10 その他（ ）

■地球温暖化防止に向けた高松市の取り組みについて

問7 以下は，高松市が行っている地球温暖化対策に関連する取り組みです。貴事業所ではご存じでしたか。それぞれの取り組みについてあてはまる番号に○を付けてください。

高松市が行っている地球温暖化対策に関連する取り組み	よく知っていた	何となく知っていた	全く知らなかった
1) 高齢化社会での利便性の高い，環境負荷の少ない公共交通として，中心市街地での LRT（≒路面電車） などの 新たな公共交通システム の導入可能性を検討していること。	1	2	3
2) 昨年から，美術館通りを歩行者に1日開放し，車を使わない生活，車のない街を体験するイベント「 カーフリーデー高松 」を実施していること。	1	2	3
3) 高松市役所が，環境マネジメントシステムの国際標準規格である ISO14001 を認証取得して，環境保全に取り組んでいること。	1	2	3
4) 平成20年より，高松市内の事業所を対象に， 太陽光発電システムの設置費補助 を行っていること。（平成20年度補助件数 196件）	1	2	3
5) 省エネ等の温暖化防止行動に積極的に取り組む高松市内の事業所や店舗を「 地球にやさしいオフィス 」，「 地球にやさしい店舗 」と認定し，PRを通じて取り組みを促進していること。	1	2	3
6) ヒートアイランド現象の緩和のため， 屋上緑化や壁面緑化の事業費の一部を助成 していること。	1	2	3

問8 貴事業所を含む高松市内の多くの事業所が、温暖化防止のための行動を現状よりもさらに積極的に行うようにするには、行政として、どのような施策が有効だと思いますか。有効だと思うものを3つまで選び、番号に○を付けてください。

- 1 国内排出量取引制度の導入、取り組み促進
- 2 二酸化炭素(CO₂)排出の少ない製品や住宅等の認定、普及促進（例 省エネラベル 等）
- 3 温室効果ガスを多く排出する事業者に対し、排出量の算定や削減目標の設定、対策検討などを義務づける制度の取り組み促進
- 4 省エネ活動等に積極的に取り組む企業・団体を評価し、表彰する仕組みの促進
- 5 温暖化防止対策や取組事例、技術などの情報提供
- 6 事業者向けの温暖化対策や省エネ等に関する研修や講習会等の開催
- 7 省エネ活動(ESCO事業、省エネルギー診断等)への支援
- 8 太陽光発電や省エネ機器導入時等の支援(購入資金の一部補助、融資等)
- 9 行政と協働での新しい環境技術の研究や実用化の促進
- 10 分からない
- 11 その他（ ）

問9 今後、市が市内から排出される温室効果ガスの削減目標を定めて具体的に行動していかうとする場合、どのような目標設定のあり方が望ましいと思いますか。あなたの考えに近いもの1つに○を付けてください。

- 1 たとえ達成が困難な数値でも、**地球温暖化を防止するために必要な理想的な数値**を目標として設定すべきだ。(目標重視型)
- 2 実施可能な取り組みを考えて、その取り組みによる削減効果を積み上げて**無理のない範囲で現実的な数値**を目標として設定すべきだ。(計画重視型)
- 3 その他（ ）

問10 高松市が持続可能な低炭素型のまちづくりを進めようとしたとき、高松市に対してどのような方向性で産業振興を進めてもらいたいですか。あなたの考えに最も近いものを2つまで選び、○を付けてください。

- 1 事業所全体というよりも、温室効果ガスを大量に排出する**一部の大規模事業所を重点的に規制・指導**していつてもらいたい。
- 2 本市の産業特性を活かし、市が音頭をとって**環境関連産業の創出・育成**を図ってもらいたい。
- 3 事業活動における温暖化防止の取り組みに等について、市内の企業同士が気軽に**情報交換や意見交換、連携して取り組めるような場や機会**をつくってもらいたい。
- 4 企業活動に伴う温室効果ガスのことは、**各企業の自主的な削減努力**に任せてもらいたい。
- 5 環境への取り組みを強化すると、近隣アジア諸国や国内の他都市の企業との競争、企業誘致競争に影響する可能性があるのでは、**あまり積極的に取り組まない方がよい**。
- 6 その他()

■最後に、貴事業所のことについて

項目	選択肢(該当する事項を○で囲んでください。)
従業員数	1 10人未満 2 10人以上～30人未満 3 30人以上～50人未満 4 50人以上～100人未満 5 100人以上～300人未満 6 300人以上～500人未満 7 500人以上～1,000人未満 8 1,000人以上
業種	1 建設業 2 製造業 3 電気・ガス・熱供給・水道業 4 情報通信業 5 運輸業 6 卸売業 7 小売業 8 金融・保険業 9 不動産業 10 飲食業 11 サービス業 12 その他()
事業所形態 (主なもの1つ)	1 事業所・営業所 2 工場・作業所 3 研究所 4 店舗 5 その他()
業務用自動車の 保有台数(概数)	1 1～5台 2 6～29台 3 30台以上 4 保有していない
改正省エネ法の 対象事業所	1 対象事業所である 2 対象事業所ではない

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ 記入漏れがないかももう一度お確かめの上、回答用紙を返信用の封筒に入れ、
10月●日(金)までにご投函していただきますようお願いします。